

研究滞在記 典型元素機能化学研究領域 中川尚久

私は若手研究者国際短期事業の御支援を受け、米国 NY 州ロチェスターに一ヶ月半滞在させて頂きました。

ロチェスターはオンタリオ湖から南に位置する、緑豊かな美しい街です。多くの大学を有する学術都市として知られております。滞在した時期は平均気温 22℃であり、高温多湿な日本の夏期に比べると格段に過ごしやすく感じました。

派遣先であるロチェスター大学は、物理学・化学・医学など幅広い科学研究領域における優れた成果を挙げてきたことで知られております。現地の学生曰く、アットホームな雰囲気がこの大学の特長でして、実際に生活してどことなく化研の雰囲気に近いものを感じました。私は化学科・無機化学分科の Neidig 研究室に在籍し、新規金属錯体の合成および分光学的手法による金属活性種の同定に携わりました。研究室発足から未だ数年のため研究室の規模は小さめではありましたが、フレンドリーなメンバー達に囲まれてのびのびと研究を楽しむことが出来ました。

滞在中は Rochester 大学の大学職員とルームシェアをし、共同生活の中で互いの文化や価値観について語り合ったことも、今は良い思い出です。私は、本渡航事業が「国際的視点の養成と人的ネットワークの形成」に重要性を置いている点から、今後渡航する方々にルームシェアをお勧めします。

最後になりましたが、本渡航事業にて御支援くださいました先生方、事務部の皆様、そして快く送り出してくださった中村研究室の皆様には、この場を借りて感謝申し上げます。



化学棟入口で撮ったメンバーとの集合写真（真中が Neidig 先生、一番右が筆者）